

<プログラムのハイライト>

●特別講演 I (10月24日 13:30~14:30)

改正 RI 法が9月1日に施行され、改正法令下での規制が始まります。今後の運用がどうなるか気になるところです。最新の放射線規制の動向を原子力規制庁の放射線規制部門の担当官の方に解説いただきます。

●シンポジウム I (10月24日 14:40~16:10)

「放射線事故の初動対応を考える」というテーマでいくつかの事例や対応の体制について紹介します。どの事業所においても放射線事故は起こり得る事として備える必要がありますが、最初に対応するのは主任者や実務担当者です。机上訓練のような物として自分の事業所ではどう行動するか（行動できないか）、一緒に考えてみたいと思います。

●シンポジウム II (10月25日 9:30~10:40)

岡山県には原子力発電所の燃料となるウランの採掘、製錬、転換、濃縮等の核燃料サイクルに関する研究開発が行われてきた人形峠環境技術センターがあります。現在は今後必要とされる廃止措置エンジニアリング、放射性廃棄物処理に関する研究が行われています。なぜウランが産出されるのかといった地学の話題から、センターの紹介、岡山県による環境監視の話題などを通して人形峠のウラン開発の現状を紹介します。

●シンポジウム III (10月25日 10:50~12:00)

この度の改正 RI 法の施行では予防規程の改正と届出、教育訓練項目の変更が多く、事業所の課題でした。法令改正説明会等では規制側から届出で終了ではなく、その後の継続的な改善が重要であると指摘されています。そこで今後の改善の参考のため、このシンポジウムでは予防規程や教育訓練の改正、見直しの実例を紹介して頂きます。また改正 RI 法のもう一つの柱である防護について最近の動向を紹介していただく予定です。

●特別講演 II (10月25日 13:00~14:00)

唯一無二のシステムを構築し小惑星イトカワの微粒子の解析を行った岡山大学惑星物質研究所教授の中村栄三氏に「地球惑星物質総合解析システム (CASTEM) の構築と応用：小惑星イトカワ、チェリャビンスク隕石、はやぶさ2」との演題でご講演頂きます。

●特別講演 III (10月25日 14:10~15:10)

日本アイソトープ協会の生みの親とも言える仁科芳雄は岡山の出身です。生家も会場となる倉敷から近く、空き時間に記念館の見学も十分できます。同じく同郷の岡山大学特命教授の小野俊朗氏に「原子科学の父仁科芳雄と郷里岡山」との演題でご講演頂きます。

●ポスター発表 (10月24日 16:20~17:20)

本年度のポスター会場は機器展示会場と同じ1階ロビーを使用します。ホール入場のついで、機器展示見学のとついでにと何度でも立ち寄りいただければと思います。配置もゆつたりと取っていますので、発表者とのディスカッションも気兼ねなく行えます。

●相談コーナー (10月24日 16:20~17:20)

放射線管理業務における疑問やお困りごとなどについて、ご相談をお受けいたします。放射線管理・取扱い、法令、RI供給・廃棄など幅広い分野でお受けいたします。お気軽にお立ち寄りください。

●機器展示

放射線関連サービス会社、製品メーカーによる様々な展示を行います。各企業の最新情報を知ることができる貴重な機会です！ お時間の許す限り、何度でもお立ち寄りください。